

秋の民俗村の賑わい

今年の民俗村は、やはり新型コロナウイルス流行の影響により、予定されていた外部企画イベントなども軒並み中止となり、入場者数は昨年度を大きく下回っております。そんな中でも「クラフト村」だったり、少人数ながら自然観察会や工作教室など、流行拡散対策をしながら細々とイベント等も開催しております。

これから行われるイベントについてご紹介いたします。

◎民家マワークショップ

先月まで行われたクラフト村で人気だったワークショップ（手作り体験・有料）。今月から11月初めまでの週末限定で園内星川家に「スピクラフトさんの草木染毛糸紡ぎ」「ひつじがりやさんのモコモコひつじ巾着作り」「さわはん工房さんの張り子づくり」、今回から新たに「ニューに加わった「カミキリムシさんの紙切り」。クラフト村で体験できなかった皆さんもぜひこの機会にお越しください。

◎さつまいも掘り体験

9月7日から園内で栽培しているさつまいもの掘り方を体験していただけます。小さなお子様などは、おいもちゃんがどうやっま育つまっているのかお勉強できるでしょう。もちろん掘ったおいもちゃんはお持ち帰りいただけますので、お家でおいしく食べまください。お申込み不要です。来園したらスタンプにお申し出ください。なくなったら終了です。お早めに。

◎アラド楽土市

9月19日から22日、民俗村園内民家等も使用して物産市を開催します。十数年前まで展勝地レストハウス周辺を会場に行われていた「展勝地がいあ市・バザール街道107」。国道107号沿線と北上川沿川の市町村の物産を集め盛大に行われておりましたが、長いお休みをいただき満を持して、まずは民俗村に楽土市から復活開催しますのぞお楽しみに！

◎結っこ田んぼ「稲刈り」

園内と南口にある棚田。春に外部の方々にもお手伝いいただき「ヒメノモチ（もち米）」の苗の田植えをしから数か月。皆様もご覧になつまると思います。今年も頭を垂れまいます。

そこで、多くの方と収穫を喜びたい！と聞こえはいいのですが皆さんにも体験の機会を作り

◎自然観察会

9月24日今年4回目となります。自然観察会。毎月第4木曜日と設定させまいたきました。が、9月も鈴木清明氏を講師に、園内を中心に周辺散策を行いながら植物の観察を行つまいきま。参加料は1,000円（昼食、傷害保険郎込み）です。お申し込みをお待ちしております。

ました。9月21日10時から、稲刈りを行います。民俗村でやるのですからもちろん手刈り。鎌を持つまひと株ずつ行います。刈った稲束は「ほによ」掛けし乾燥します。動きやすい格好で参加しまみまください。作業後にはレストハウスで調理した「こびり」をご用意してありますので、賞味ください。なお、こびり代、傷害保険料込みで参加費2,000円となります。

来園者からのお便り

民俗村ファンの一人、市内二子町にお住いの及川正男さんから、園内にある「がん小屋」についてこんなお便りをいただきました。

「死者が出ても今は葬儀場や済ませるが、昔は土葬だったの墓地まで行列（野辺送り）をしたものだ。その道具一式を収めているのが「がん小屋」。死の穢れを忌み嫌いに保管してたもので、集落ごとにあった。民俗村の「がん小屋」は二子町川端地区から移築されたもので、真言宗と曹洞宗の違いを学ぶことが出来るよお！」と、何ともツウな見方を！



☆施設紹介☆

白亜の校舎、旧黒沢尻高等女学校校舎であった民俗資料館のその奥に、男の子が大好きわくわくな消防車が展示してあります。その名も「消防資料館」。昭和56年に北上市の消防の歴史記念誌を作るときに集められた資

料がずらりと並んでいます。現在のような常備消防（消防組合・消防署など）が出来る前の、いわば自分たちの町は自分たちで守る「火消し」の精神で取り組まれた警防団・消防団組織の歴史です。手押しポンプやらまとい、半纏などの数々。圧巻は実際に使用された消防ポンプ車両。前のボンネットが大きく膨らんだ、昭和の消防車。来館すること子どもたちに喜んでもらいたいと赤色灯を点灯し、サイレンもなるように細工しました。（ピカピカウーウー（ー）☆）

